

防寒・低温対策について

令和7年2月4日
農業技術課

週間天気予報では、5日から11日にかけて今シーズン一番の強い寒気が流れ込み、冬型の気圧配置が強まる見込みです。甲府の最低気温は -7°C が予想されています。この低温は続くことが予想されますので、次の防寒・低温対策を徹底してください。

<週間天気予報>

2025年02月04日11時 甲府地方気象台 発表									
日付	今日 04日(火)	明日 05日(水)	明後日 06日(木)	07日(金)	08日(土)	09日(日)	10日(月)	11日(火)	
山梨県	晴後曇 	晴時々曇 	晴時々曇 	曇時々晴 	晴時々曇 	晴時々曇 	晴時々曇 	晴時々曇 	
降水確率(%)	-/-/10/10	10/10/10/10	20	30	20	20	20	20	
信頼度	-	-	-	A	A	A	A	A	
甲府 気温 ($^{\circ}\text{C}$)	最高	10	6	8 (6~9)	7 (5~9)	8 (6~10)	8 (6~11)	9 (7~12)	11 (8~14)
	最低	-	-2	-7 (-9~-5)	-6 (-8~-4)	-6 (-7~-3)	-6 (-8~-3)	-6 (-8~-4)	-5 (-7~-3)

<施設>

- 「施設園芸における省エネルギー対策のポイント（令和3年12月改定）」を参考に対策を徹底する。

農業技術課 HP <https://www.pref.yamanashi.jp/nougyo-gjt/kisyousaigai.html>

- 被覆に隙間ができないように補修や目張りを行い、気密性を高め、ハウス内温度を確保する。また、ハウス周囲を再度確認し、ビニールの破れや開閉部のズレがある場合は補修する。
- 加温ハウスでは、燃料残量を確認し早めに給油しておく。
- 凍結による灌水設備等の破損を防ぐため、水抜きや凍結防止対策を行う。

<ブドウ>

- 結果母枝は犠牲芽せん定を行い、せん定時の大きな切り口への癒合剤の塗布を励行する。
- 主幹から主枝分岐部にかけてワラ巻き等による防寒対策や樹の周囲2m位に敷ワラやバーク堆肥などのマルチによる土壌の凍結の防止策、また早期落葉した樹や若木・欧州系品種では、ワラ巻き等による防寒対策の再確認を行う。

<立木果樹>

- せん定時の大きな切り口への癒合剤の塗布を励行する。
- 樹の周囲2m位に敷ワラ・バーク堆肥などのマルチによる土壌の凍結防止策や、秋植えの苗木や若木では、敷ワラや幹などへのワラ巻きなどの防寒対策を再確認する。

〈野菜〉

- ・ スイートコーントンネル栽培では、地温が低いと発芽不良の原因となるため、播種は地温と土壌水分が適切に確保されてから行う。

〈畜産〉

- ・ 消化器病や呼吸器病の予防のため、適切な防風・保温・換気に配慮する。
- ・ 保温のための機器は使用前に異常の有無を点検して畜舎の火災発生防止に努める。
- ・ 畜舎内やパドックの凍結時は、砂や融雪促進剤等を散布して転倒を予防する。